

【プログラムV-①】

テーマ 子どもを見守る

プログラム 地域の子どもは地域で育てる

ねらい 地域の子ども達とのかかわり方についてロールプレイングをしたり、話し合ったりすることを通して、地域住民としての役割について考える。

<展開(60分)>

時間	展開(進行マニュアル)	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・後出しジャンケン 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 20分	4 地域の子ども達にかかわったり、見守ったりできる機会と心がけについて考える。 ① ラベルに記入する  地域の子ども達にかかわったり、見守ったりできる機会について考えましょう。また、どんなことに心がけたらよいでしょう。 ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う  同じくらいの年齢の方とグループに分かれましょう。自分の考えを他の参加者に強要せず、お互いの考えを認め合いましょう。	<ワークショップ1(ラベルワーク)> 地域の子ども達にかかわったり、見守ったりできる機会について考えましょう。また、どんなことに心がけたらよいでしょう。 例：「登下校時、公園で遊んでいる時」 「まずは笑顔で挨拶を心がける」 「悪ふざけの時は優しく注意する」など ・年齢ごとにグループ分けする方が、お互いの共通理解が得やすい。 ・自分の考えを、他の参加者に強要せず、お互いの考えを認め合えるようにする。
展開 (2) 20分	5 悪ふざけをしている地域の子ども達へのよりよい言葉かけについて考える。 ① ワーク2に記入し、ロールプレイングを行う  悪ふざけをしている地域の子ども達へのよりよい言葉かけについて考えましょう。子どもの立場になって、子ども達が心から反省できるよりよい言葉かけを考えましょう。 ② グループ・全体で話し合う  他のペアの方のロールプレイングを御覧になっていかがでしたか。これまでの地域の子ども達への自分のかかわり方についても振り返ってみましょう。	<ワークショップ2(ロールプレイング)> 下校中に悪ふざけで、追いかけてこをしていて、車と接触しそうになった子どもを見かけた時。 例：「もうちょっとで危ないところだったね」 「君達、怪我はなかったかな」 「これまで見て見ぬ振りをしていた」など ・地域住民役と子ども役に分かれてロールプレイングをし、子どもの立場にもなることで、子ども達が心から反省できるよりよい言葉かけを考える。 ・話し合いでは、ロールプレイングを見た感想だけでなく、これまでのかかわり方についても振り返らせる。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  最後に、「ベレのあたらしいふく」という絵本を読みます。地域住民として、地域の子ども達のためにできることからやっているといいですね。	・絵本「ベレのあたらしいふく」(エルサ・ベスコフ作、福音館書店)の読み聞かせを聞き、地域住民としての役割に気付かせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

『(V-①) 地域の子どもは地域で育てる』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 地域の子ども達にかかわったり、見守ったりできる機会について考えましょう。また、どんなことに心がけたらよいでしょう。

メモ

ワーク2 (ロールプレイング)

<場面設定> 下校中に悪ふざけで、追いかけてっこをしていて、車と接触しそうになった子どもを見かけた時。

<子ども役>

(例) 「あっ、危なかった。」



<地域住民役>

<今日の学習の感想>

【プログラムV-②-1】

テーマ 地域活動への参加

プログラム 地域活動の輪を広げよう（地域住民）

ねらい 地域の親子が参加できそうな地域活動や、地域住民として自分達にできそうな地域活動について話し合うことを通して、地域活動の輪を広げる必要性について考える。

<展 開（60分）>

時間	展 開（進行マニュアル）	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・30秒当て 3 「3つの約束」の確認	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div>
展開 (1) 20分	4 地域の親子が参加できそうな地域活動について考える。 ① 地域の魅力について話し合う  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域の魅力について、考えてみましょう。 </div> ② ラベルに記入する  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域の親子が参加できそうな地域活動について考えましょう。 家庭の事情なども考慮し、子どもだけの参加が可能な地域活動についても考えましょう。 </div> ③ 地域活動年間曆にラベルを貼り、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域活動年間曆の各月の上に、書いたラベルを貼っていきましょう。 イベントやボランティアなどの地域活動に参加した経験がある場合は、具体的に話してください。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ1（話し合い）> 地域の親子が参加できそうな地域活動について考えましょう。 </div> 例：「地域のスポーツ大会やラジオ体操」 「地域の祭りやボランティア活動」 「子ども会や公民館の講座」など <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力についてグループごとに話し合わせる。 家庭の事情なども考慮し、子どもだけの参加が可能な地域活動についても考える。 イベントやボランティアなどの地域活動に参加した経験がある場合は、その状況を具体的に話させる。 地域活動年間曆に季節ごとの色分けを行うなど工夫を行う。
展開 (2) 20分	5 地域活動の輪を広げていくために、地域住民として自分達にできそうなことを考える。 ① ワーク2に記入する  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 地域活動の輪を広げていくために、地域住民として自分達にできることを考えましょう。 地域の親子のためだけでなく、自分達にとっても楽しんで取り組み、長続きすることを考えましょう。 </div> ② ラベルに書き込み、グループ・全体で話し合う <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 意見を、個人でできること、協力が必要なことなどのカテゴリーで分けましょう。 すぐに実行できることについては地域住民の皆さん同士で取り決めを行うのもいいですね。 </div> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ワークショップ2（ラベルワーク）> 地域活動の輪を広げていくために、地域住民として自分達にできることを考えましょう。 </div> 例：「子どもだけの参加の声かけもする」 「親子が参加できる新しい企画を考える」 「日頃から、挨拶を進んでする」など <ul style="list-style-type: none"> 地域の親子のためだけでなく、自分達にとっても楽しんで取り組み、長続きすることを考える。 すぐに実行できることについては地域住民同士で取り決めを行う。 どうすれば、みんなが参加できるのか話し合わせる。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 最後に、「まつり」という絵本を読みます。 地域活動の輪を広げていくために、地域住民として自分達にできることからやっているといいですね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本「まつり」（いせひでこ作、講談社）の読み聞かせを聞き、地域活動の輪を広げていくための実践への意欲をもたせる。 今日の学習の感想を書かせる。

『(V-②-1) 地域活動の輪を広げよう (地域住民)』ワークシート

ワーク1 (話し合い)

<課題> 自分達が住んでいる地域の魅力について考えましょう。

メモ

<課題> 地域の親子が参加できそうな地域活動について考えましょう。

メモ

ワーク2 (ラベルワーク)

<課題> 地域活動の輪を広げていくために、地域住民として自分達にできることを考えましょう。

<今日の学習の感想>

【プログラムV-②-2】

テーマ 地域活動への参加

プログラム 地域の輪を広げよう（企業）

ねらい 地域にある企業、企業人として社会貢献になり地域の親子と関わる活動を通して地域活動の輪を広げ、家庭での話題提供に寄与する。

〈展開（60分）〉

時間	展開（進行マニュアル）	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・集合ゲーム ・指折り など 3 「3つの約束」の確認	・本日のテーマの説明 ・参加者の緊張をほぐし円滑な話し合いが出来る雰囲気をつくる。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 20分	4 地域の企業として地域の親子と関わる活動を考える。 ① ラベルに記入する  自分達が住んでいる地域で行われている活動には、どんなものがありますか。 ② ラベルワークを行いグループ・全体で話し合う 出された意見をカテゴリーに分けましょう。 それぞれのグループで出た意見を発表してください。 	<ワークショップ1> <ワーク1（ラベルワーク）> 地域活動に参加して良かったことは、何ですか。 例：「区の夏祭り（盆踊り）」 「ラジオ体操」 「神社・公園の清掃」 「市主催のイベント参加（まつり）」 「海浜清掃」等 ・参加経験がなく見たり聞いたりしたこと で良かったことなどを出してもらおう。
展開 (2) 20分	パターンA【主に地域活動への参加についての実践が少ない場合】 5 企業が地域の親子とかかわる活動がどのような効果をもたらすか、グループで考える。  グループで話し合いましょう。 ① 地域への効果 ② 家庭への効果 ③ 企業への効果 ④ 持続可能かどうか	<ワーク2（話し合い）> 企業が地域の親子とかかわる活動がどのような効果をもたらすか、考えましょう。 ・実現可能な場合は、具体的なプログラムを検討する。
	パターンB【主に地域活動への参加についての実践が多い場合】 5 地域活動へ参加、企画、運営方法について、グループで考える。  見聞きした地域活動からの子ども達、保護者の参加を促す方法や参加した子ども達や保護者が家庭で話すきっかけになる事象をグループで話し合いましょう。 それぞれのグループで出た意見を発表してください。	<ワーク2（話し合い）> 地域活動の良さ、そして企業のイメージアップに繋がり地域活動の活性化が図れる方法を考えましょう。 ・実現が可能な場合は、具体的な方法を立案する。
まとめ 10分	6 まとめ ・活動事例の紹介 ・今日の学習の感想 ・読み聞かせ	・地域で行われている活動の紹介 ・サポ・プロでの気付きや学びを書かせる。

『(V-②-2) 地域の輪を広げよう (企業)』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題> 地域の活動に参加して良かったことは何ですか。

メモ

ワーク2 (話し合い)

パターンA

<課題> 企業が地域の親子とかかわる活動がどのような効果をもたらすか、考えよう。

メモ

パターンB

<課題> 地域活動の良さ、そして企業のイメージアップに繋がり地域活動の活性化が図れる方法を考えよう。

メモ

<今日の学習の感想>

【プログラムV-③】

テーマ 地域を知る

プログラム 地域のよさ（ひと・もの・こと）を伝えよう

ねらい 地域のよさ（ひと・もの・こと）についての話し合いを通して、そのよさを地域の親子に伝えるための方法について考える。

<展開（60分）>

時間	展開（進行マニュアル）	展開のポイント
導入 10分	1 テーマの説明 2 アイスブレイキング ・自己紹介 ・たましいの握手 3 「3つの約束」の確認	・参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <3つの約束> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします
展開 (1) 20分	4 地域のよさ（ひと・もの・こと）について考える。 ① ラベルに記入する  <p>自分達が住んでいる地域のよさ（ひと・もの・こと）は何でしょうか。地域のよさだけでなく、地域の課題として、ひと・もの・ことを考えてもいいですよ。</p> ② ラベルワークを行い、グループ・全体で話し合う  <p>地域のよさについて出された意見を、ひと・もの・ことのカテゴリーに分けましょう。自分達が住んでいる地域のよさや課題が明確になりましたね。</p>	<ワークショップ1（ラベルワーク）> 地域のよさ（ひと・もの・こと）は何でしょうか。 例：「近くに川があり、生き物がいる」 「元気なお年寄りが多く、協力的である」 「古くから伝わる神楽がある」など ・地域のよさだけでなく、地域の課題として、ひと・もの・ことを考えてもよい。 ・地域のよさについて出された意見を、ひと・もの・ことのカテゴリーごとに分けた後で、話し合う。
展開 (2) 20分	5 地域のよさ（ひと・もの・こと）を、地域の親子に伝える方法について考える。 ① ワーク2に記入する  <p>地域のよさ（ひと・もの・こと）を、地域の親子に伝える方法を考えよう。活動できるメンバーが複数いる場合は、計画案を一緒に考えましょう。</p> ② グループ・全体で話し合う  <p>実現可能な場合は、具体的な実施場所や時間、連絡先なども話し合しましょう。他のグループの計画案も参考にして、自分達の計画案を修正してもいいですよ。</p>	<ワークショップ2（話し合い）> 地域のよさ（ひと・もの・こと）を、地域の親子に伝える方法を考えよう。 例：「地域のよさ探し親子ウォーキングをする」 「高齢者による託児所を公民館に設置する」 「地域の公園でキャンプをする」など ・活動できるメンバーが複数いる場合は、計画案を一緒に考えさせる。 ・実現可能な場合は、具体的な実施場所や時間、連絡先なども話し合う。
まとめ 10分	6 まとめ ・読み聞かせ ・今日の学習の感想  <p>最後に、「だじゃれ日本一周」という絵本を読みます。これからも地域のよさ（ひと・もの・こと）を、地域の親子に伝えていけるといいですね。</p>	・絵本「だじゃれ日本一周」（長谷川義史、理論社）の読み聞かせを聞き、地域のよさ（ひと・もの・こと）を、地域の親子に伝えようとする意欲をもたせる。 ・今日の学習の感想を書かせる。

『(V-③) 地域のよさ(ひと・もの・こと)を伝えよう』ワークシート

ワーク1 (ラベルワーク)

<課題>地域のよさ(ひと・もの・こと)は何でしょうか。

メモ

ワーク2 (話し合い)

<課題>地域のよさ(ひと・もの・こと)を、地域の親子に伝える方法を考えよう。

<今日の学習の感想>

A large rectangular frame containing ten horizontal dashed lines, providing a space for writing or drawing.

